



# 1,000 PROTOTYPES

with Generative-AI

1枚の絵は1000の言葉に値する。1つのプロトタイプは1000枚の絵に値する。では、1000のプロトタイプは？

"A picture is worth a thousand words. A prototype is worth a thousand pictures. So, what about a thousand prototypes?"

生成AIの進化により、プロトタイピングに必要な技術的ハードルは、今や劇的に下がりつつあります。かつては「プロのデザイナーやエンジニア」に依頼しなければ実現できなかったプロトタイプづくりも、誰でも短時間で行える時代になりました。

プロトタイピングは「迅速に・繰り返し・並行して」実施することに意味があります。つまり、プロトタイプをつくる量とスピードこそが、新製品開発における競争力そのものになるのです。

こんな格言があります。

「1枚の絵は1000の言葉に値する。1つのプロトタイプは1000枚の絵に値する」。  
もし1つのプロトタイプが1000枚の絵に相当するのだとしたら、1000個のプロトタイプを作ることができれば、製品開発の失敗を減らし、成功確率を飛躍的に高めることができるはずです。

本資料では、誰もが短時間で1000個のプロトタイプを生み出せるようになるための具体的な手法を、生成AIを活用してどのように実現するか、そのプロセスと事例を交えてご紹介していきます。

## 本資料で扱う生成AIを用いたプロトタイプ

No	手法名	AIカテゴリ	所要時間	所要金額	必要なスキル	ページ数
1	ランディングページ (LP) プロトタイピング	テキスト生成、 画像生成、コード生成	1~3時間	¥0	なし	P4~
2	チラシプロトタイピング	テキスト生成、 画像生成	10~15分	¥0	なし	P7~
3	UI・UX 新規サービスプロトタイピング	Webページ生成	30分~1時間	¥0	なし	P10~
4	UI・UX 既存サービス改善プロトタイピング	Webページ生成	30分~1時間	¥0	なし	P13~
5	3Dプリンタを使ったフィジカルプロトタイピング	CADデータ生成	1~3時間	¥0	3Dプリンター操作スキル	P16~
6	エクスペリエンスプロトタイピング	チャット生成	30分~1時間	¥0	なし	P19~
7	コンセプト動画プロトタイピング	映像生成	30分~1時間	¥0	なし	P22~
8	アイデアプレスリリースプロトタイプ	テキスト生成	30分~1時間	¥0	なし	P25~

完全版のみ掲載

Methodology

# 01

## ランディングページ (LP) プロトタイピング



AIカテゴリ

-  
テキスト生成、  
画像生成、コード生成

所要時間

-  
1~3時間

所要金額

-  
¥0 ※生成AI利用料は除く

必要なスキル

-  
なし

## 概要

ランディングページ（LP）プロトタイプリングは、サービスを紹介し、訪問者が実際に行動を促すかを検証できる。具体的には、アイデアのLPを作成し、URLを生成した上で広告を出稿してみることで、実際のユーザーにニーズがあるかの検証や、問い合わせからのアーリーアダプターの獲得に繋げることができる。

## 使う場面

アイデア構築フェーズにおいて、(1)チラシなどのインタビューを通して、ある程度検討しているアイデアの価値が見えてきたとき、(2)利害関係がないユーザーを発見してフィードバックを得たいときなどに使用可能。

## 手順

No	実施項目	実施内容	実施のポイント
1	指示プロンプトの作成	次ページのテンプレートプロンプトをもとに、プロンプトの調整を行う。	
2	LPの生成	ランディングページが生成できるAIサービス（ <a href="#">Readdy</a> など）に、調整したプロンプトを打ち込む。	<a href="#">Claude</a> などでも生成は可能だが、2025年6月時点ではReaddyのクオリティが高いので利用を推奨
3	生成結果のレビュー・修正	生成したランディングページを確認し、出力された内容を確認し、意図と異なる箇所があれば修正する。	<ul style="list-style-type: none"><li>・画像やテキストの納得性が低い場合、テキスト生成AI（ChatGPT / Claude / Geminiなど）や画像生成AI(Midjourney / Stable Diffusion / DALL·E)を用いて適宜修正する</li><li>・後ほど広告を打つので、問い合わせフォームは必ず用意し、問い合わせを確実に受け取れる状態に整備する。問い合わせフォームのリンク先は、Google Formなどを利用して作成でOK</li></ul>
4	LPのリリース	ランディングページのURLを発行し、予算に応じてFacebookやLINEなどで広告を出稿する。	広告はLPのメインビジュアルをもとに、画像生成AIを用いて広告用に最適化するように指示する
5	反応の確認	問い合わせが来た人に対して連絡を行い、サービスのどのあたりに興味が惹かれたのかなどのヒアリングを行う。	問い合わせをしてくれた人は、アーリーアダプターとして抱え込むことが可能

## テンプレートプロンプト

以下の内容でWebページを作成してください。

### # サービス名

ここにサービス名入れ込み（本テキストと例は削除してください）

例）退職代行やめるAI

### # サービスの概要

ここにサービスの概要入れ込み（本テキストと例は削除してください）

例）AIを用いた退職代行サービス

### # LPのゴール:

ここにLPのゴール入れ込み（本テキストと例は削除してください）

例）サービスの認知度向上と問い合わせ数の増加

### # ランディングページの要素:

ここにランディングページの要素入れ込み（本テキストと例は削除してください）

例）ページ左上にロゴ、メインイメージ、キャッチコピー、サービス紹介（特徴・ベネフィット）、FAQ（よくある質問・回答）、CTAボタン（例：今すぐ問い合わせる、資料をダウンロードする）

### # ターゲットユーザー:

ここにターゲットユーザー入れ込み（本テキストと例は削除してください）

例）- 20代~40代のビジネスパーソン

- プログラミングやデザイン未経験者も含む

### # デザインテイスト:

ここにデザインテイスト入れ込み（本テキストと例は削除してください）

例）- シンプルかつモダンで分かりやすい

### # 注意点:

ここに注意点入れ込み（本テキストと例は削除してください）

例）- 過度に専門用語を使わず、読みやすい日本語に

- 人々が気軽に問い合わせや資料ダウンロードをしなくなるような表現

### # 出力に関する要望

ここに出力に関する要望入れ込み（本テキストと例は削除してください）

例）1. 全体をビジネスフォーマルだが、平易なトーンにしてください。

2. 本文は2~3分で読み終わる程度の分量を意識してください。

3. CTA部分は視線を集めやすい配色や文言の案を提案してください。

4. ロゴはサービス名に沿って適宜生成してください

5. 2パターン生成してください

プロンプトのコピーやダウンロードはP30の「Resources」から

## 生成結果例



以下略

Methodology

# 02

## チラシプロトタイピング



AIカテゴリ

-  
テキスト生成、  
画像生成

所要時間

-  
10~15分

所要金額

-  
¥0 ※生成AI利用料は除く

必要なスキル

-  
なし

## 概要

チラシプロトタイプリングは、アイデアを非常にクイックに形にして、検証できる。アイデアを思いついたタイミングなどでチラシをつくり、ターゲットユーザーに見せてフィードバックをもらうことで、アイデアの方向性が確かか、課題が本当にあるかなどを早く掴むことができる。反面、チラシ自体のプロトタイプ忠実度は非常に低いので、チラシを提示された評価者が想像で補う余地が大きく、正確な検証は行うことができないことを意識する必要がある。

## 使う場面

アイデア構築の初期フェーズにおいて、アイデアに関するユーザーの課題があるか、アイデア自体の価値があるかを確認したいとき

## 手順

No	実施項目	実施内容	実施のポイント
1	指示プロンプトの作成	次ページのテンプレートプロンプトをもとに、プロンプトの調整を行う。	アイデアの概要を出来るだけ詳細に埋めることで、認識とずれがないチラシが生成される
2	チラシの生成	画像生成が可能なAI ( <a href="#">ChatGPT</a> など) に、調整したプロンプトを打ち込む	
3	生成結果のレビュー・修正	生成したチラシを確認し、イメージと違うところがあれば修正依頼をAIにする。3つ程度アイデアを用意する	<ul style="list-style-type: none"><li>・アイデア初期段階では、複数のアイデアを並行して検証することで学習効率を最大化することが可能。そのため、3~5つ程度のチラシを用意する</li><li>・画像やテキストの納得性が低い場合、テキスト生成AI (ChatGPT / Claude / Geminiなど) や画像生成AI (Midjourney / Stable Diffusion / DALL·E) を用いて適宜修正する</li></ul>
4	チラシを用いたインタビュー	チラシをターゲットに可能な限り近い人に見せて、フィードバックをもらう	チラシを見せる対象がターゲットから離れすぎていると、フィードバックの有効性が低くなる可能性があるため、ペルソナを設計してからそのペルソナに近い人に見せる必要がある

## テンプレートプロンプト

以下の条件で画像を作成してください。

### # 出力に関する要望

16:9の横長のサービス紹介チラシを作成

「3アプリの利用の流れ」は親しみのある図解形式で、インフォグラフィック風

### # チラシに掲載する情報

#### ## タイトル

ここにタイトル入れ込み（本テキストと例は削除してください）

例：いいこみゆ

#### ## アプリの利用の流れ

##### ### 3.1 利用の流れ①

ここに利用の流れ①入れ込み（本テキストと例は削除してください）

例：アプリ上から気になる画像を複数回選択するとあなたの趣味趣向、人柄を把握

##### ### 利用の流れ②

ここに利用の流れ②入れ込み（本テキストと例は削除してください）

例：ぴったりな相手3人とマッチ。アプリ上でトーク。

##### ### 利用の流れ③

ここに利用の流れ③入れ込み（本テキストと例は削除してください）

例：③ 気が合えば、リアルなお店で割引付きでお茶かご飯を！

#### ## 利用費用

ここに利用費用入れ込み（本テキストと例は削除してください）

例：初月0円。2ヶ月目から1,980円

プロンプトのコピーやダウンロードはP30の「Resources」から

## 生成結果例



### 【生成結果に伴う参考情報】

・生成AIはテキストの出力に現時点でまだ弱いため、正確な日本語の表現に違和感があるケースが多い。そのため、ユーザーインタビューする際は、読み上げる、または利用の流れテキストを出力しないなど適宜調整が必要

# Resources

完全版は以下のページ下部の  
「生成AI×プロトタイピング資料」  
からダウンロードしてください。

<https://sd-prototyping.co.jp/resources>

# 1,000 Prototypes with Generative-AI

執筆：三冨 敬太（S&D Prototyping株式会社）、有賀 和輝（株式会社LIFULL）

本ホワイトペーパーのお問い合わせ先



S&D Prototyping

S&D Prototyping株式会社は戦略的かつ迅速な新規事業・サービスづくりを得意とするプロトタイピングに特化した会社です。すべての人がつくることを通して、未来をプロトタイピングしていける社会を目指しています。

<https://sd-prototyping.co.jp/>

ご質問やご不明な点、セミナーやワークショップの開催のご相談がございましたら、下記の窓口までお気軽にご連絡ください。プロトタイピングの代行や伴走についても行っております。

<https://sd-prototyping.co.jp/contact>